

【国語】目標・内容表

特別支援学校学習指導要領（文部科学省）参照

学部		小学部			中学部		高等部		
教科の目標		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で理解し表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。							
思考力、判断力、表現力等		(2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思考力や想像力を養う。			(2) 日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。		(2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。		
段階の目標		1段階	2段階	3段階	1段階	2段階	1段階	2段階	
						小学校1,2年	小学校3,4年	小学校5,6年	
思考力、判断力、表現力等		イ 言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。	イ 言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。	イ 出来事の順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりすることができるようにする。	イ 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。	イ 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。	イ 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。		
		読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。							
思考力、判断力、表現力等	C 読むこと	構造と内容の把握	指導者と一緒に絵本		絵本や易しい読み物	簡単な文や文章	様々な読み物		
			ア 身近な事物や生き物への気付き、注目	ア 登場するものや動作の想起	ア 登場人物の行動や場面の様子の想像	ア 情景や場面の様子、登場人物の心情の想像		ア 登場人物の行動や心情を叙述を基に捉える	ア 登場人物の相互関係や心情を描写を基に捉える
			イ 知っている事物や出来事などを指さしなどで表現	イ 時間の経過など	イ 時間的な順序など	イ 時間的な順序や事柄の順序	イ 出来事の順序や気持ちの変化	イ 段落相互の関係 考えとそれを支える理由や事例との関係	イ 事実と感想、意見などとの関係 文章全体の構成、要旨
						内容の大体			
			ウ 絵や矢印などの記号	ウ 日常生活でよく使われている表示	ウ 日常生活に必要な語や文、看板	ウ 日常生活に必要な語句、文章など	ウ 日常生活や社会生活、職業生活に必要な語句、文章、表示	ウ 登場人物の心情や情景の具体的な想像	ウ 人物像を具体的な想像や表現の効果
							エ 中心となる語句や文の明確化	精査・解釈	目的を意識して
	形成の	エ 次の場面への期待、動きの模倣	エ 好きな場面、言葉の模倣	エ 音読したり演じたりすること	エ 分かったことや感想を伝えること	オ 伝え合ったことを基に感じ方の違いに気付くこと	オ 理解したことを基に感想や考えをもつこと	オ 理解したことを基に考えをまとめること	